

第11回 トラック輸送における取引環境・労働時間改善広島県地方協議会 議 事 録

1. 日 時：平成31年1月18日（金） 13時30分～15時30分

2. 場 所：ホテルメルパルク広島 6F 「平成」

3. 委 員：

若井 具宜	経営コンサルタント（広島県立大学 名誉教授）
三井 正信	広島大学大学院 社会科学研究科 教授
中野 博之	広島県経営者協会 専務理事【欠席】
谷村 武士	広島県商工会議所連合会 幹事長【欠席】
甲田 良憲	マツダ株式会社 生産管理・物流本部長【欠席】 （※代理出席：木原 学 生産管理・物流本部 調達物流部 部長）
仁城 明彦	全国農業協同組合連合会広島県本部 J A担当部長
宮田 秀雄	株式会社福屋 物流部長
福島 淳仁	株式会社サンエス 管理本部人事部次長
田中 一範	広島県冷蔵倉庫協会 会長
有馬 重樹	日本通運株式会社 執行役員 広島支店長【欠席】 （※代理出席：鶴木 准二 次長（業務・安全・作業管理））
八田 弘明	福山通運株式会社 専務執行役員 営業本部副本部長【欠席】 （※代理出席：長原 丈人 広島支店 支店長）
竹本 昭法	芸北急送株式会社 代表取締役社長【欠席】
沖藤 克治	沖藤運送株式会社 代表取締役会長
岩本 和則	公益社団法人広島県トラック協会 専務理事
三浦 英次	広島県交通運輸産業労働組合協議会 議長【欠席】
向井 裕	中国経済産業局 産業部長【欠席】 （※代理出席：近村 淳 産業部中小企業課 課長）
川口 達三	広島労働局 局長【欠席】 （※代理出席：鈴木 秀博 労働基準部長）
土肥 豊	中国運輸局 局長【欠席】 （※代理出席：村上 弘人 自動車交通部長）
森井 茂人	中国運輸局広島運輸支局 支局長

4. 開会挨拶：

(広島労働局：鈴木部長)

ただいまご紹介頂きました、広島労働局の鈴木でございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、ご承知のように、昨年7月に公布されました働き方改革関連法が、いよいよ今年の4月から順次施行されます。時間外労働の上限規制につきましては、原則月45時間、年360時間ということになりまして、大企業については今年の4月から、中小企業については来年の4月から施行されるということになっております。ただ本協議会の中心課題でございます、トラック運転手の自動車運転の業務につきまして5年間、具体的には2024年3月31日まで、この上限規制の適用が猶予されまして、同年の4月1日からは年960時間という特例が適用されるということになります。当面はこのスケジュールに沿って対応していくことになりますけれども、私共、やはり気になるのが、今、非常に人手不足が深刻だということで、この人手不足がどう影響するのかということでございます。ご案内のように、県内の有効求人倍率が昨年の11月で2.11倍でございました。7ヶ月連続で2倍台が続いています。全国でも2番目3番目となる高い数字になりまして、トラック運転手が関係します「輸送機械運転」の職業を見ますと、フルタイム求人で3.79倍という倍率でございます。これは県単位の求人倍率なので、輸送も機械運転も一緒になっているのですが、全国の有効求人倍率を見ますと、実は別々に数字が出ておりまして、全国では「輸送機械運転」の職業が2.68倍に対しまして、小分類の「自動車運転の職業」が3.15倍ということでございます。そうすると、県内のほうも、自動車運転の職業に限れば、もっと求人倍率が高いのではないかと思います。その中で、他の職種に比べると、やはり長時間労働が余儀なくされているこの業界におきまして、この5年間で着実に労働時間を短くして休日を増やすという取組みをしていないことには、ますます人手不足に拍車がかかるのではないかと、ということが気になるところでございます。運送会社の方々にいろいろお話をお聞きしましても、やはり最近の若い社員は、給料よりも、早く帰らせて欲しい、休みも欲しい、という人が多いということをよく耳にします。これについて、厚生労働省の雇用動向調査という統計調査の中で、転職した人が前の仕事を辞めた理由が何だったかと訊く調査項目がございまして、自己都合の退職理由を見ると、何が多いかというと、「給料と収入が少なかった」というのともう一つ、「労働時間・休日等の労働条件が悪かった」というのが、実は男女ともに多い理由として挙がっております。男性については、平成29年には、この「労働時間・休日等の労働条件が悪かった」というのが12.4%、次いで「収入が少なかった」が11.0%、三番目に「会社の将来が不安だった」が8.9%ということでした。過去10年間ずっと見てみると、この「労働時間・休日等の労働条件が悪かった」、「給料と収入が少なかった」というのが、大体10%前後のパーセンテージで1位と2位を争っているという状況でございます。また、女性について見ますと、「労働時間・休日等の労働条件が悪かった」という理由が従来から一番多くて、同じく平成29年を見ますと14.7%、次いで多いのが、「職場の人間関係が好ましくなかった」が13.0%、三番目に「収入が少なかった」が10.5%という順位でございます。この調査結果を見ますと、これだけ求人倍率が高くて人手不足が深刻化している中、やはり人を集めるには、賃金だけでなく、労働時間・休日等の労働条件を良くしていけないといけない、そうしないと新たに採用するのも難しいし、場合によっては当然転職していく人も出てくるということで、人材も流出していくということになるということだと思います。そうすると、やはり、

時間外労働の上限規制の適用が猶予されるこの 5 年の間に、取引環境の改善などを通じまして、やはり労働時間・休日等の労働条件を着実に改善していかないと、他の業界、職種に遅れをとって、人材がますます集まらない、選ばれない業界になるのではないかというふうな危惧を持っております。そういう意味で、この協議会の重要性というのは、これまでも増して、重要性が高まっていくのではないかと感じております。物流業界の問題は、単にその事業主の方だけの問題ではなくて、荷主の理解も得ながらやっていかないといけないという特殊性があると思います。各委員の皆様方におかれましては、引き続きそれぞれの立場から積極的に意見交換をして頂きまして、本協議会から取引環境、それから労使間の対策の取組みが少しでも多く発信されるようにご協力をお願い致しまして、本日の開会の挨拶とさせて頂きます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

5. 配布資料の確認：

- (1) 議事次第
- (2) 委員名簿、出席者名簿、配席図
- (3) 資料 1-1 広島県地方協議会トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会、コンサルティング事業について
- (4) 資料 1-2 新標準運送約款、働き方改革を踏まえた取組状況に関する実態調査
- (5) 資料 取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン
- (6) 資料 2 中国トラック協会 若年層向け人材確保 PR 用 DVD が完成！
- (7) 資料 3-1 第 9 回トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会及び第 8 回トラック運送業の生産性向上協議会
- (8) 資料 3-2 トラック運送サービスを持続的に提供可能とするためのガイドライン
- (9) 資料 3-3 貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律の概要
- (10) 資料 3-4 平成 30 年度協議会とコンサルティング事業のスケジュール

6. 議題：

- (1) 平成 30 年度コンサルティング事業の概要及び新標準運送約款、働き方改革を踏まえた取組状況に関する実態調査について
- (2) 「取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」の概要について
- (3) 若年層ドライバーの人材確保の取組について
- (4) トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会等の概要及び平成 30 年度広島県地方協議会のスケジュール等について

7. 議題の内容：

(三井先生)

それでは、平成 30 年度第 2 回となります本日の協議会では、今年度のコンサルティング事業の実験スキームについてご報告いただきます。またこれまで 2 年間にわたり実施されてきたパイロット事業の

成果として中央でまとめられた、「荷主とトラック運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善のためのガイドライン」につきまして、国土交通省から委託を受けた野村総合研究所の方にご説明いただくほか、事務局からも報告事項が用意されております。ご承知の通り、2024 年からトラック運転手の時間外労働の上限規制が適用されます。トラック事業者は、運転手不足という厳しい経営環境の中で、運転手に無理させていた部分もあったかと思われますが、5 年後からは上限を超えると罰則を科せられるということになっております。一方で、一昨年の標準貨物自動車運送約款の改正に続きまして、昨年は、貨物自動車運送事業法改正によりまして、トラック運賃等の告示など、トラック事業者の取引環境の改善に向けて、法整備も行われているところでございます。トラック事業者が荷主と対等の立場で運賃交渉を行えるような、土壌が出来つつありますけれども、取引環境、長時間労働を改善するためには、やはり最後は荷主の理解と協力が必要不可欠となります。そこで、荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働改善に向けた取組みを紹介するツールの一つでありますガイドラインを、いかに普及・浸透させるかが今後の重要な課題かと思われしますが、まずは委員の皆様方には、関係先への周知をお願いすることになります。また本会議の最後に、皆様から長時間労働改善に向けた対応などについて、それぞれの立場から忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

それでは議事に入りますが、その前に本日の議事の進め方につきまして、次の通りとさせていただきますので、予めご留意をお願いしたいと思います。まず議題 1「平成 30 年度コンサルティング事業の概要及び新標準運送約款、働き方改革を踏まえた取組状況に関する実態調査」につきましては、日本 PMI コンサルティング株式会社様からご説明を頂きます。次に議題 2「取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」の概要につきましては、株式会社野村総合研究所様からご説明を頂きます。議題 3「若年層ドライバーの人材確保の取組」については、広島県トラック協会からの説明と、就職を希望する高校生向けの DVD の視聴を行います。議題 4「トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会の概要及び平成 30 年度広島県地方協議会のスケジュール等」については、事務局の広島運輸支局から説明を行うということとなっております。各議題の説明におきまして、ご質問やご意見があれば、説明後にご発言をお願いしたいと思います。それでは早速議題に入りたいと思います。日本 PMI コンサルティング株式会社の小坂様、説明をよろしくお願い致します。

(1) 平成 30 年度コンサルティング事業の概要及び新標準運送約款、働き方改革を踏まえた取組状況に関する実態調査について

資料 1-1 1-2 日本 PMI コンサルティング株式会社 省略

(2) 「取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」の概要について

資料 株式会社野村総合研究所 省略

(3) 若年層ドライバーの人材確保の取組について

資料 2 広島県トラック協会 省略

(4) トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会等の概要及び平成 30 年度広島県地方協議会のスケジュール等について

資料 3-1 3-2 3-3 3-4 広島運輸支局 省略

(三井先生)

はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご質問・ご意見等はございますか。

それでは、以上で議題の説明が一通り終わりましたので、冒頭に申しあげました通り、ここで委員の皆様方から長時間労働改善に向けた対応、それからご意見等お伺いしたいと思います。自社での生産性向上に対する取組み、運送約款や事業法の改正、ガイドラインの策定等、運送業界の環境整備が行われておりますが、どういった視点で取り組めば良いかなど、それぞれの立場から忌憚のない発言をお願いしたいと思います。それから併せて、本日説明がありました議題についての質問等も結構でございます。それでは、まずはトラック事業者ということで、日本通運さんいかがでしょうか。

(日本通運株式会社：鵜木委員)

鵜木でございます。先程トラック協会さんの DVD の中にもありましたけど、やはり人材の確保が非常に喫緊の課題かな、と思います。4月からの働き方改革関連法案の対応もありまして、非常に頭数が足りてないないという状況でございます。それで、採用を強化していくということをして、どの仕事に集中していくのかというのを選択して、ということも検討しています。

(三井先生)

それでは、続いて荷主ということで、マツダ株式会社さん、よろしくお願い致します。

(マツダ株式会社：木原委員)

マツダの木原と申します。先程ご説明して頂いたガイドラインの内容については、非常に参考になりました。具体的には、それぞれ取り組んでいるもの、その視点がなかったなというものもございまして、ぜひ参考にさせて頂きたいなと感じました。それで、マツダの場合、自動車部品ですので、食品等々の輸送とは違う部分はございますけども、やはりいろんな変動の要素が多くて、急にこういう輸送が必要になるという時に、なかなかトラック運転手がいけないという状況も目の前にあります。そこをある程度平準化するというのもどこかに出ていましたけども、そのあたりで我々も貢献できる場所はあると思いました。以上です。

(三井先生)

はい、ありがとうございました。トラック事業者ということで、沖藤運送さん、よろしくお願い致します。

(沖藤運送株式会社：沖藤委員)

今のお話の中で、引き続きこの協議会で検討する時間をいただけるとのこと、本当に有難いお話だと思います。先程来、お話にもございますように、社員の応募が非常に少ない状況にあります。若い方

よりも、むしろ年をとった方が退職していかれるようなところでございまして、それを如何に解決するか。それからもう一つは、荷待ち時間等々につきまして、荷主さんともお話をさせて頂いている中で、先般も少しお話させていただきましたが、高速道路の利用を今年度から全面的に認められまして、これは非常に効果が出ておるように思います。引き続き、荷主さんとのお話の中で諸問題を解決していければと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(三井先生)

はい、ありがとうございました。今度はまた荷主ということで、広島県冷蔵倉庫協会さん、お願い致します。

(広島県冷蔵倉庫協会：田中委員)

広島県冷蔵倉庫協会の田中です。冒頭に、労働局さんから、今の人手不足の状況をご説明頂きましたけども、少しそれに加えてということでお話をさせて頂くと、3 年程前、トヨタさんのテレビコマーシャルをちょっと思い浮かべて頂いて、妻夫木聡が演じるのび太くんと、ジャン・レノが演じるドラえもんが教習所で失敗を繰り返して、免許を取るというコマーシャルがあったと思います。そのコマーシャルの最後に「免許を取ろう」という文字を出されておりました。ですから、トヨタさん自体も、免許を取って欲しい、というような環境であるということが一つ。それと 3 年前にアジアの若者達の欲しいもののベスト 5 というのが日経の分析で出ておりましたけれども、タイにしてもフィリピンにしても中国にしても韓国にしてもベトナムにしても、近隣のアジア諸国ベスト 5 の中に全部車が入っているのですが、日本の若者が欲しいもののベスト 5 の中に残念ながら車が入っておりません。こういった環境に今あるということが、一番大きな問題です。そこに加えて、先程、トラック協会さんからの DVD の中にもありましたけども、免許制度の複雑化というのが大きなハードルになっております。現状であれば準中型免許制度が出来ましたけども、若い人達が、普通免許を取って、中型免許を取って、そうしないと 4 トンまでたどり着けないということで、「2 回免許を取って俺はドライバーになるんだ」と思う若者がどれ程いるかというのを考えると、これは国全体で考えていかないと、このドライバー不足というのは永遠に解決しないだろうと思っておりますので、そのところを一つ申し上げておきます。以上です。

(三井先生)

はい、ありがとうございました。もう少し時間がありますので、それでは福山通運さん、よろしくお願い致します。

(福山通運株式会社：長原委員)

先程から雇用に関するお話し出ておりますが、当社も、今、高齢化が進んでおりまして、新入社員を補充することだけではなくて、女性ドライバーを何とか班ができるくらい的人数に増やしていこうという形で、女性ドライバーが働ける環境を整えて、女性ドライバーを増やして、お客さんを回っていく戦力アップを図っている最中です。以上です。

(三井先生)

はい、ありがとうございました。それでは最後に、株式会社サンエスさん、よろしくお願いします。

(株式会社サンエス：福島委員)

株式会社サンエスの福島と申します。私は採用のほうで年中動いておりますが、ご指摘の通り、弊社に限らず、全般的に人手不足で困っている状況がここ数年続いています。特にトラック業界は、採用に関しては厳しい状況であるという数字が今日も示されているわけですが、本日 DVD を見させていただきましたが、非常に良いものを作成されているな、という感じを受けました。高校生向けの DVD ということでしたが、やはりどういう仕事なのかというのを具体的に知ると知らないのとでは、生徒さんの志望の重要度が全然違ってきます。それと DVD の中で、小丸会長が「インターンシップを取り入れたほうが良い」と言われておりましたが、これは正におっしゃる通りで、実際に職場体験することによって、さらに生徒さんのほうが突っ込んで考えるということに繋がっていかうかと思います。良い DVD を見させて頂いたと思います。ありがとうございます。

(三井先生)

はい、ありがとうございました。それでは、時間になりましたので、ここで最後に総括ということで若井先生、一言よろしくお願い致します。

(若井先生)

若井です。最初に挨拶された労働局の鈴木部長から、人手不足の状況を有効求人倍率などの数字も挙げながら説明頂いて、トラック協会の DVD でもあったと思いますが、今日の会議を通して、人材確保という大きな問題があるな、という認識を深めました。それから、野村総研さんとか、日本 PMI コンサルティングさんもそうですが、鋭意、調査等を進められているようですので、次回 3 月の報告を楽しみにしたいと思います。私のほうからは、今日はこれくらいにさせていただきます。ありがとうございました。

(三井先生)

はい、どうもありがとうございました。それでは、本日予定されておりました議題はこれにて全て終了致しましたので、マイクを事務局のほうにお返ししたいと思います。よろしくお願い致します。

(事務局)

はい、三井座長、議事の進行ありがとうございました。長時間に亘り議論頂きありがとうございます。予定の時間となりましたので、以上で本日の協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。